

献血できる人でできない人

健康な方は、献血による身体への影響は殆どありません。ただし、健康状態の良くない方の場合、献血により健康を損ねることがあります。日本赤十字社では、献血してくださる方の安全に配慮して、年齢、体重、血圧、ヘモグロビン濃度などの他、年間献血回数などの献血基準を設けています。

輸血を受ける患者さんの安全を最大限に確保するために、下記に該当する方は、献血していただけない場合があります。基本的には、血液を介した感染症を防止することが目的です。詳細は、日本赤十字社のホームページまたは献血ルームなどで確認いただけます。

- 当日の体調不良、服薬中、発熱等の方
- 出血を伴う歯科治療（歯石除去を含む）をした方
- 一定期間内に予防接種を受けた方
- 6か月以内にピアスの穴をあけた方
- 6か月以内にいれずみを入れた方
- 外傷のある方
- 動物または人に咬まれた方
- 特定の病気に罹ったことのある方
- 海外旅行及び海外で生活したことがある方
- 輸血歴・臓器移植歴のある方
- エイズ、肝炎などのウイルス保有者、またはそれと疑われる方
- クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の方、またはそれと疑われる方
- 妊娠中、授乳中等の方

日本赤十字社のホームページ  
<http://www.jrc.or.jp/>

献血が患者さんに届くまで

福島県の場合、皆さんからの献血は、図のような流れを経て、輸血を必要とする患者さんの元に届けられます。この他に、一部の献血は、血漿中に含まれる特定のタンパク質を抽出、精製して、血漿分画製剤の原料としても使われています。

献血ルーム、献血バス

皆さんが献血をするところ。各種問診や簡単な検査をして、献血をしていただきます。



福島県赤十字血液センター

福島県全体の献血を集めて、東北ブロック血液センターに送る。



東北ブロック血液センターで作られた血液製剤を、必要とする医療機関に届ける。

東北ブロック血液センター

集めた献血の血液型や各種感染症検査をして、安全性を確認したものを血液製剤として製造後、冷蔵または冷凍保管する。



東北ブロックの血液製剤の需給管理を行い、必要な量を各県の赤十字血液センターに送る。

医療機関  
(患者さん)



献血できる人の

福島県には、常設の献血ルームが4箇所あります。この他に、県内各所を献血バスが回っています。いわき市内でも、4月には9箇所献血バスが来ることになっていきますので、見かけたらお気軽に覗いてみてください。

● 福島県赤十字血液センター

住所 福島市永井川字北原田17  
 電話番号 0245442550、  
 献血予約 01200129915  
 定休日 金曜日

● 会津出張所

住所 会津若松市一箕町大字  
 八幡字門田1-2  
 電話番号 0242246650、  
 献血予約 01200203977  
 定休日 火、木、金、日曜日

● いわき出張所

住所 いわき市中央台飯野5丁目1-1  
 電話番号 0246295624、  
 献血予約 01200398343  
 定休日 月、水、金、日曜日

● 郡山駅前献血ルーム

住所 郡山市駅前一丁目6番  
 10号 ダイワロイネット  
 ホテル郡山駅前3階  
 電話番号 0249252638、  
 献血予約 01200379915  
 定休日 元旦、大晦日

血液の基礎知識

血液の約55%は血漿で、残りの45%が血球で構成されています。血漿は、栄養の運搬、二酸化炭素や老廃物の排出、血圧の保持などの役割を担っています。血球には、酸素を運ぶ役割を担う赤血球、免疫の役割を担う白血球、止血作用を担う血小板があります。

人間の血液の量は、体重の約8%で、医学的には、血液の12%を献血しても問題が無いとされています。つまり、体重の0.9%の献血をしても医学的には問題がありません。400ml全血献血の最低基準としている体重50kgの人の場合、医学的には450mlの献血が可能です。献血される方の安全と健康を十分に配慮して基準が決まっています。

献血して失われた血液の「量」は、水分摂取することで、短時間で回復します。血液の「成分」が回復する速さは、その成分によって異なります。多少の個人差はありますが、血漿成分は約2日、血小板成分が約4〜5日、赤血球は約2〜3週間で回復します。

多くの皆さんに献血の重要性を理解して頂き、ご協力頂けると幸いです。

かしま病院は、日本赤十字社の献血サポーターとして活動、協力しています。

